

えひめ水産イノベーション地域だより

発行：公益財団法人えひめ産業振興財団
えひめ水産イノベーション創出地域
TEL 089-960-1153 FAX 089-960-1105
E-mail : sakamoto@ehime-iinet.or.jp

第14号 平成26年2月5日発行

2月です。お椿さんです。春です。

松山市の伊豫豆比古命神社の「お椿さん」は、伊予路に春を告げる祭りと言われており、今年度は2月6日～8日の3日間。商売繁盛・大漁満足・海上安全を祈る多くの人々が参拝します。

聞く話によると「お椿さん」は神社のある椿地区が名称の由来とか。「椿」の地名は、その昔、まだその辺りは海辺で神様が船に乗って着いた場所で、港(津)のそば(脇)を意味する「津の脇」が、「津脇(つわき)」に転じ、現在の「椿」という地名になったということです。

このように伊豫豆比古命神社は、海に関係した神社であることから、漁業関係者の参拝も多いのだそうです。今年も、宇和海の漁業にいいことがいっぱいあることを願って参拝に行ってみませんか。

「えひめ水産イノベーション戦略支援プログラム」を通じ、宇和海にいいことがあるように頑張ってお祈りしますので、ご支援・ご協力よろしくお願いします。

海外水産市場の調査

年明け早々、1月13日-17日の5日間、財団職員2名が愛媛大学研究員とともに、東アジアにおける水産物の流通市場調査のため香港のジェトロ、水産食品貿易会社、スーパーマーケット等を訪問しました。

現地では、長年、水産物の輸入販売を行っている食品貿易会社2社を訪問し、輸入形態や香港市場における流通ルートなどを把握するとともに、宇和海産水産物のアジア輸出に向けた課題を把握することを念頭に調査を行いました。

訪問した食品貿易会社のうち1社は、宇和島市吉田町出身の社長さんで、28年前に香港に渡り起業したとのこと。現在、東京築地市場で買い求めた鮮魚やチルド製品を羽田から航空便で輸入しているとのことでした。宇和海のマハタの養殖に興味を持っておられました。価格は驚いておりました。

今回の調査に際し、伊予銀行香港支店の多大な御協力を頂きました。感謝申し上げます。



食品貿易会社での面談調査



ジェトロ香港事務所での面談調査

人材育成講座について

宇和海の水産物の6次産業化を担う人材の育成を目指した《水産イノベーションスキル修得講座》の第9回の講座が1月18日・19日に開催され、1日目は宇和島市(愛媛大学宇和島エクステンション)で、2日目は八幡浜市(水産物地方卸売市場)において開催されました。

今回の講座は、地元の宇和島市や八幡浜市の行政関係者、久良漁協や企業組合あこやひめの漁業関係の代表を講師に迎えての講義で、宇和海の養殖業を中心とした漁業の実態、水産物の流通による水産振興、漁協女性部が取り組んだ起業化、漁協経営や水産物輸出の問題点など、各講師から宇和海の漁業が直面している問題や養殖実態に見合った講義がありました。

併せて、各受講生各が取り組んでいるプロジェクト研究の完成に向けて、指導教官からの指導もありました。



地元講師による講義の様子

お知らせ

《研究成果報告会の開催》

平成26年2月18日(火) 午後1時30分から 宇和島市丸の内3丁目のサフタイムホールにおいて、「平成25年度えひめ水産イノベーション創出地域研究成果報告会」を開催します。

報告内容は、愛媛大学南予水産研究センターが地域イノベーション戦略支援プログラムで行った次の5つの課題の研究成果を報告します。多数の皆様の参加をお待ちしております。

- ICT等を利用した海域情報ネットワークによる赤潮・魚病対策技術の研究開発
- 環境と調和した免疫能賦活養殖技術の開発
- モデル海産魚を用いた新魚種の成長・成熟の基礎研究
- マグロ類の完全養殖を目指した基礎研究
- 流通システム等の抜本的改革による新たな水産ビジネスモデル構築に関する研究

《愛大水産イノベスキル修得講座の受講者募集》

宇和海における水産物の6次産業化を担う人材を育成するため、愛媛大学が平成26年4月～翌年3月までの間、月1回(土日)の講座を開設します。募集人員は20名程度。募集〆切は2月14日。問合せは☎089-927-8827、FAX089-927-8820 愛媛大学社会連携機構水産イノベーションスキル修得講座係